

# 第34回 市民福祉講座

人生80年時代を迎え、社会環境も家庭環境もさまざまに変化しています。人は人との関わりの中で、一喜一憂しながら、さまざまな価値観をもって生きています。どう生きるかを問う意味で、

「一人ひとりが輝いて生きる」

をテーマに開催します

赤穂市総合福祉会館3階集会室  
3回シリーズ

受講料 1,000円

No.1

7/14 [土]  
午後1時30分～  
3時30分

## 「老いと共に考える人生の仕舞い方」

世田谷区立特別養護老人ホーム芦花ホーム 常勤医師 石飛 幸三 氏

1935年広島県生まれ。1961年慶應義塾大学医学部卒業。同大学外科学教室に入局後、1970年ドイツのフェルディナント・ザウアーブルッフ記念病院で血管外科医として勤務。帰国後、1972年東京都済生会中央病院勤務、1993年東京都済生会中央病院副院長を経て、2005年より現職。診療の傍ら、講演や執筆などを通して、老衰末期の看取りのあり方についての啓発に尽力している。主な著書に『「平穏死」のすすめ 口から食べられなくなったらどうしますか』（講談社）『「平穏死」という選択』（幻冬舎ルネッサンス新書）などがある。



No.2

7/21 [土]  
午後1時30分～  
3時00分

## 「思いやりにあふれた日々」

～瀬戸内寂聴さんの秘書が語る～

瀬戸内寂聴事務所 秘書 瀬尾 まなほ 氏

瀬戸内寂聴秘書。1988年生まれ、兵庫県神戸市出身。京都外国語大学英米語学科卒業。卒業と同時に寂庵に就職。3年目の2013年3月、長年勤めていたスタッフ4名が退職（寂庵春の革命）し、66歳年の離れた瀬戸内寂聴の秘書として奮闘の日々が始まる。瀬戸内宛に送った手紙を褒めてもらったことにより、書く楽しさを知る。瀬戸内について書く機会にも恵まれ、2017年6月より『まなほの寂庵日記』（共同通信社）連載スタート。15社以上の地方紙にて掲載されている。著書に『おちゃめに100歳!寂聴さん』がある。困難を抱えた若い女性や少女たちを支援する「若草プロジェクト」理事も務める。



No.3

7/28 [土]  
午後1時30分～  
3時30分

## 「誰もが自分らしく地域で暮らすために」

大阪府立大学大学院人間社会システム科学研究科 准教授 三田 優子 氏

大阪市社会福祉審議会委員、茨木市障害者自立支援協議会会長。日本女子大学社会福祉学科卒業、東京大学大学院修士課程修了。同博士課程（保健学専攻）単位取得中退。愛知県コロニー発達障害研究所研究員、花園大学社会福祉学部助教授を経て現職。障がいのある当事者の活動や地域生活支援に広く関わる。主な著書に「障害者と地域生活」（中央法規出版）「ケアマネジメント」（中央法規出版）「心にとどくホームヘルプ」（全国精神障害者家族会連合会）「ケアされること」共著（岩波書店）「精神障害者のホームヘルプサービス」監修（朝日新聞厚生文化事業団）などがある。

主催／赤穂市社会福祉協議会

後援／赤穂市・赤穂市教育委員会・赤穂市自治会連合会・赤穂市民生委員児童委員協議会・関西福祉大学

参加希望者は、申込書に受講料を添えて、赤穂市社会福祉協議会（総合福祉会館内 赤穂市中広267 〒678-0232 電話42-1397）または中央公民館・各地区公民館・市社会福祉課・関西福祉大学へ7月9日（月）までに申込下さい。参加券の郵送をご希望の場合は、参加費に82円切手を貼付した返信用封筒（宛名・住所・郵便番号を明記）を同封して赤穂市社会福祉協議会へ送付してください。

キリトリ

氏名	住所	T E L	参加券番号
市民福祉講座 申込書	赤穂市	( )	